

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7700534号
(P7700534)

(45)発行日 令和7年7月1日(2025.7.1)

(24)登録日 令和7年6月23日(2025.6.23)

(51)国際特許分類

F I

B 4 2 F 7/00 (2006.01)

B 4 2 F 7/00 J

請求項の数 10 (全20頁)

(21)出願番号	特願2021-103958(P2021-103958)	(73)特許権者	000001351
(22)出願日	令和3年6月23日(2021.6.23)		コクヨ株式会社
(65)公開番号	特開2023-3038(P2023-3038A)		大阪府大阪市東成区大今里南 6 丁目 1 番
(43)公開日	令和5年1月11日(2023.1.11)		1 号
審査請求日	令和6年5月9日(2024.5.9)	(74)代理人	100085338
			弁理士 赤澤 一博
		(72)発明者	神 教雄
			大阪府大阪市東成区大今里南 6 丁目 1 番
			1 号 コクヨ株式会社内
		(72)発明者	山崎 裕二
			大阪府大阪市東成区大今里南 6 丁目 1 番
			1 号 コクヨ株式会社内
		審査官	山下 清隆

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ファイル

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前側シート及び後側シートを含んで構成された二つ折り可能な収納部を有したファイルであって、
前記前側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、
前記後側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、
前記前側シートにおける前記一方の片半部と前記後側シートにおける前記一方の片半部とが相互に固定されており、
前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とが相対移動可能に配設されているものであり、
前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とを相対移動可能にガイドするガイド機構が設けられているものであり、
前記ガイド機構が、前記後側シートにおける前記他方の片半部に設けられた他のシートを有し、当該他のシートに形成された折り曲げ部分に対して前記前側シートにおける前記他方の片半部の上縁部が係合し得る構成をなしているファイル。

【請求項 2】

前側シート及び後側シートを含んで構成された二つ折り可能な収納部を有したファイルであって、

前記前側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、
前記後側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、
前記前側シートにおける前記一方の片半部と前記後側シートにおける前記一方の片半部とが相互に固定されており、
前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とが相対移動可能に配設されているものであり、
前記前側シートの高さ寸法は、その上端部が前記後側シートにおける上下方向中間部に位置する値に設定されているファイル。

10

【請求項 3】

前側シート及び後側シートを含んで構成された二つ折り可能な収納部を有したファイルであって、
前記収納部が、二つ折りされない展開姿勢と、前記収納部が二つ折りされた閉じ姿勢との間で開閉動作可能に構成されたものであり、
前記前側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、
前記後側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、
前記前側シートにおける前記一方の片半部と前記後側シートにおける前記一方の片半部とが相互に固定されており、
前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とが前記展開姿勢と前記閉じ姿勢との間の姿勢変更に伴って相対移動可能に配設されているファイル。

20

【請求項 4】

前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とを相対移動可能にガイドするガイド機構が設けられている請求項 2 又は 3 記載のファイル。

【請求項 5】

前記ガイド機構が、前記前側シートにおける前記他方の片半部及び前記後側シートにおける前記他方の片半部の何れか一方に直接又は間接的に設けられたスリットと、他方に直接又は間接的に設けられ前記スリットに挿入される舌片である請求項 4 記載のファイル。

30

【請求項 6】

前記ガイド機構が、前記後側シートにおける前記他方の片半部に設けられた他のシートを有し、当該他のシートに形成された折り曲げ部分に対して前記前側シートにおける前記他方の片半部の上縁部が係合し得る構成をなしている請求項 4 記載のファイル。

【請求項 7】

前記前側シート及び前記後側シートは、一枚のシートを折曲部において折り曲げることににより構成されている請求項 1、2 又は 3 記載のファイル。

【請求項 8】

前記一枚のシートにおける前記折曲部の近傍から切り起こされた固定片が、他のシートに対して溶着されている請求項 7 記載のファイル。

40

【請求項 9】

前記収納部が二つ折りされない展開姿勢と、前記収納部が二つ折りされた閉じ姿勢との間で開閉動作可能に構成されたファイルであって、
前記前側シートにおける前記一方の片半部と前記他方の片半部との間に、単数又は複数の折曲線を有した第一ヒンジ部が設けられたものであり、
前記後側シートにおける前記一方の片半部と前記他方の片半部との間に、単数又は複数の折曲線を有した第二ヒンジ部が設けられたものであり、
前記第一ヒンジ部及び前記第二ヒンジ部は、前記展開姿勢において相対的に偏移した位置に配設されている請求項 1、2 又は 3 記載のファイル。

50

【請求項 10】

前記収納部が二つ折りされない展開姿勢と、前記収納部が二つ折りされた閉じ姿勢との間で開閉可能に構成されたものであって、
前記相対移動が、前記展開姿勢と前記閉じ姿勢との間の姿勢変更に伴ってなされる左右方向の移動である請求項 1、2、3、4、5、6、7、8 又は 9 記載のファイル。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、書類を収容し得るファイルに関する。

【背景技術】

【0002】

従来から前側シート及び後側シートを含んで構成された二つ折り可能な収納部を有したファイルが知られている（例えば、特許文献 1 を参照。）。

【0003】

この種のファイルは、前側シートにおける左右両方の片半部が、それぞれ後側シートにおける左右両方の片半部に対して固定された構成をなしている。

【0004】

ところが、このような構成のファイルでは、比較的多くの書類を前側シートと後側シートとの間に収容した状態で二つ折りをすると、前側シート及び後側シートの配設箇所の相違に起因して特に前側シートの予期しない変形が惹起され、ファイル全体が好適な二つ折り姿勢を採り難いという不具合が生じていた。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【文献】実用新案登録第 3 2 1 0 4 9 9 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

本発明は、以上のような事情に着目してなされたもので、少なくとも、収納部を構成する前側シート及び後側シートの双方が好適な二つ折り姿勢を採り得るように構成されたファイルを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

すなわち、本発明は次の構成をなしている。

【0008】

請求項 1 に記載の発明は、前側シート及び後側シートを含んで構成された二つ折り可能な収納部を有したファイルであって、前記前側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、前記後側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、前記前側シートにおける前記一方の片半部と前記後側シートにおける前記一方の片半部とが相互に固定されており、前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とが相対移動可能に配設されているものであり、前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とを相対移動可能にガイドするガイド機構が設けられているものであり、前記ガイド機構が、前記後側シートにおける前記他方の片半部に設けられた他のシートを有し、当該他のシートに形成された折り曲げ部分に対して前記前側シートにおける前記他方の片半部の上縁部が係合し得る構成をなしているファイルである。

請求項 2 に記載の発明は、前側シート及び後側シートを含んで構成された二つ折り可能な収納部を有したファイルであって、前記前側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、前記

10

20

30

40

50

後側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、前記前側シートにおける前記一方の片半部と前記後側シートにおける前記一方の片半部とが相互に固定されており、前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とが相対移動可能に配設されているものであり、前記前側シートの高さ寸法は、その上端部が前記後側シートにおける上下方向中間部に位置する値に設定されているファイルである。

請求項3に記載の発明は、前側シート及び後側シートを含んで構成された二つ折り可能な収納部を有したファイルであって、前記収納部が、二つ折りされない展開姿勢と、前記収納部が二つ折りされた閉じ姿勢との間で開閉動作可能に構成されたものであり、前記前側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、前記後側シートが、二つ折りされた前記収納部の一方側に位置する一方の片半部と他方側に位置する他方の片半部とを備えたものであり、前記前側シートにおける前記一方の片半部と前記後側シートにおける前記一方の片半部とが相互に固定されており、前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とが前記展開姿勢と前記閉じ姿勢との間の姿勢変更に伴って相対移動可能に配設されているファイルである。

【0009】

請求項4に記載の発明は、前記前側シートにおける前記他方の片半部と前記後側シートにおける前記他方の片半部とを相対移動可能にガイドするガイド機構が設けられている請求項2又は3記載のファイルである。

【0010】

請求項5に記載の発明は、前記ガイド機構が、前記前側シートにおける前記他方の片半部及び前記後側シートにおける前記他方の片半部の何れか一方に直接又は間接的に設けられたスリットと、他方に直接又は間接的に設けられ前記スリットに挿入される舌片である請求項4記載のファイルである。

【0011】

請求項6に記載の発明は、前記ガイド機構が、前記後側シートにおける前記他方の片半部に設けられた他のシートを有し、当該他のシートに形成された折り曲げ部分に対して前記前側シートにおける前記他方の片半部の上縁部が係合し得る構成をなしている請求項4記載のファイルである。

【0012】

請求項7に記載の発明は、前記前側シート及び前記後側シートは、一枚のシートを折曲部において折り曲げることにより構成されている請求項1、2又は3記載のファイルである。

【0013】

請求項8に記載の発明は、前記一枚のシートにおける前記折曲部の近傍から切り起こされた固定片が、他のシートに対して溶着されている請求項7記載のファイルである。

【0014】

請求項9に記載の発明は、前記収納部が二つ折りされない展開姿勢と、前記収納部が二つ折りされた閉じ姿勢との間で開閉動作可能に構成されたファイルであって、前記前側シートにおける前記一方の片半部と前記他方の片半部との間に、単数又は複数の折曲線を有した第一ヒンジ部が設けられたものであり、前記後側シートにおける前記一方の片半部と前記他方の片半部との間に、単数又は複数の折曲線を有した第二ヒンジ部が設けられたものであり、前記第一ヒンジ部及び前記第二ヒンジ部は、前記展開姿勢において相対的に偏移した位置に配設されている請求項1、2又は3記載のファイルである。

【0015】

請求項10に記載の発明は、前記収納部が二つ折りされない展開姿勢と、前記収納部が二つ折りされた閉じ姿勢との間で開閉可能に構成されたものであって、前記相対移動が、前記展開姿勢と前記閉じ姿勢との間の姿勢変更に伴ってなされる左右方向の移動である請求項1、2、3、4、5、6、7、8又は9記載のファイルである。

【００１６】

請求項９に記載の発明は、前記収納部が二つ折りされない展開姿勢と、前記収納部が二つ折りされた閉じ姿勢との間で開閉可能に構成されたものであって、前記相対移動が、前記展開姿勢と前記閉じ姿勢との間の姿勢変更に伴ってなされる左右方向の移動である請求項１、２、３、４、５、６、７又は８記載のファイルである。

【発明の効果】

【００１７】

以上説明したように本発明によれば、少なくとも、収納部を構成する前側シート及び後側シートの双方が好適な二つ折り姿勢を採り得るように構成されたファイルを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１８】

【図１】本発明の一実施形態を示す展開姿勢の正面図。

【図２】同実施形態における閉じ姿勢の左側面図。

【図３】図１におけるＸ－Ｘ線概略端面図。

【図４】図１におけるＹ－Ｙ線概略端面図。

【図５】図２におけるＵ－Ｕ線概略端面図。

【図６】図３におけるＺ部分拡大図。

【図７】図４におけるＶ部分拡大図。

【図８】図５におけるＷ部分拡大図。

【図９】同実施形態の構成部材（表紙）を説明するための展開状態の正面図。

【図１０】同実施形態の構成部材（一枚のシート・後仕切りシート・前仕切りシート）を説明するための展開状態の正面図。

【図１１】同実施形態の構成部材（ベースシート）を説明するための展開状態の正面図。

【図１２】同実施形態の構成部材（ポケットシート）を説明するための展開状態の正面図。

【図１３】同実施形態の構成部材（保持シート）を説明するための展開状態の正面図。

【図１４】同実施形態における一使用例を説明するための展開姿勢の正面図。

【図１５】同実施形態におけるガイド機構の状態を説明するための部分拡大正面図。

【図１６】他の実施形態である前側シートと後側シートを示す正面図。

【発明を実施するための形態】

【００１９】

以下、本発明の一実施形態を、図１～１５を参照して説明する。なお、図中において、溶着部分（溶着部）には符号ｙを付している。また、明細書中の左右・上下は、説明の都合上便宜的に示しているものである。

【００２０】

この実施形態は、本発明を、用紙等の書類Ｐを収容し得る二つ折り可能な収納部ｓｐが設けられたファイルに適用したものである。

【００２１】

ファイルは、前側シートであるベースシート４と、ベースシート４よりも後側に位置する後側シートである表紙１を含んで構成された二つ折り可能な収納部ｓｐを有したものである。

【００２２】

ファイルは、収納部ｓｐが二つ折りされない展開姿勢（Ｔ）と、収納部ｓｐが二つ折りされた閉じ姿勢（Ｆ）との間で開閉動作可能に構成されている。すなわち、ファイルは、表表紙１１及び裏表紙１２を有する表紙１を備え、表表紙１１及び裏表紙１２が略面一をなすように展開し得る見開き姿勢である展開姿勢（Ｔ）と、表表紙１１及び裏表紙１２の各内面同士が対面し得るように略平行をなす閉じ姿勢（Ｆ）との間で左右方向中央部を回転中心として回転可能に構成されている。

【００２３】

ファイルは、左片半部である表表紙１１及び右片半部である裏表紙１２を有した表紙１

10

20

30

40

50

と、表紙 1 の前側に配された複数すなわち前後二枚の仕切りである前仕切りシート 3 及び後仕切りシート 2 と、前仕切りシート 3 の前側に配されたベースシート 4 と、ベースシート 4 における左片半部であるベースシート左片半部 4 1 の前側に配設され当該ベースシート左片半部 4 1 と協働して物品を収容可能なポケットを形成し得るポケットシート 5 と、ベースシート 4 における右片半部であるベースシート右片半部 4 2 の前後を覆うように配設され当該ベースシート右片半部 4 2 を上下方向の移動を抑制しつつ左右方向に相対移動可能に保持する保持シート 6 を備えている。

【0024】

ファイルには、前側シートの片半部であるベースシート右片半部 4 2 を、後側シートの片半部すなわち裏表紙 1 2 に対して所定方向に相対移動可能にガイドするガイド機構たる第一、第二のガイド機構 G 1、G 2 が設けられている。

10

【0025】

<表紙 1>

表紙 1 は、全体として略横長矩形状をなしたものである。表紙 1 は、他のシート、すなわち、前仕切りシート 3、後仕切りシート 2、ベースシート 4、ポケットシート 5、及び、保持シート 6 よりも厚みのあるシート材により作られている。

【0026】

表紙 1 は、展開姿勢（T）において左側に位置した略縦長矩形状をなす表表紙 1 1 と、展開姿勢（T）において右側に位置した略縦長矩形状をなす裏表紙 1 2 と、表表紙 1 1 と裏表紙 1 2 との間に介設されたヒンジ部である背表紙 1 3 を備えたものである。

20

【0027】

表表紙 1 1 の上縁部には、閉じ姿勢（F）において背表紙 1 3 に設けられたゴムバンド B が係合し得る凹み部 1 1 a が形成されている。また、表表紙 1 1 の上縁部には、後仕切りシート 2 の上端部に突設された後指掛け凸片 2 1 a、及び、前仕切りシート 3 の上端部に突設された前指掛け凸片 3 1 a に対応する位置を切り欠いた切欠部 1 1 b が形成されている。

【0028】

裏表紙 1 2 には、外面側に閉じ姿勢（F）を保持するためのゴムバンド B の両端部が既知の取付手段を介して取り付けられている。裏表紙 1 2 の上端部には、表表紙 1 1 と同様にゴムバンド B が係合し得る凹み部 1 2 a が形成されている。

30

【0029】

背表紙 1 3 は、その全体でヒンジ部を構成するものである。背表紙 1 3 は、上下方向に延びた左右一対の内折り線 m 1 と、左右一対の内折り線 m 1 の各外側に配された上下方向に延びた左右一対の外折り線 m 2 とを備えている。背表紙 1 3 は、左右一対の内折り線 m 1 の間に設けられた背表紙本体 1 3 a と、背表紙本体 1 3 a の両側部に設けられ内折り線 m 1 と外折り線 m 2 の間に位置する側端補助部 1 3 b とを備えている。

【0030】

<後仕切りシート 2（仕切り）>

仕切りである後仕切りシート 2 は、表紙 1 の前に配設されている。後仕切りシート 2 は、全体として横長矩形シート状をなしている。後仕切りシート 2 は、展開姿勢（T）において左側に位置した略縦長矩形状をなす後仕切りシート左片半部 2 1 と、展開姿勢（T）において右側に位置した略縦長矩形状をなす後仕切りシート右片半部 2 2 と、後仕切りシート左片半部 2 1 と後仕切りシート右片半部 2 2 との間に介設されたヒンジ部である後仕切りシートヒンジ部 2 3 とを備えたものである。

40

【0031】

後仕切りシート左片半部 2 1 には、上端部に使用者が手指で摘みやすい形状をなした後指掛け凸片 2 1 a が突設されている。後仕切りシート左片半部 2 1 の下部には、表表紙 1 1 の内面側に溶着される固定片 C が突設されている。なお、固定片 C の構成については、後で詳述する。

【0032】

50

後仕切りシート右片半部 2 2 には、右端縁の下半部を後仕切りシートヒンジ部 2 3 側に凹ませた後の端凹部 2 2 a を備えている。後の端凹部 2 2 a は、背表紙 1 3 の右側端縁の下半部に溶着される保持シート 6 における右の被溶着片 6 6 や当該右の被溶着片 6 6 に隣設された右のマチ 6 5 との干渉を避けるために設けられている。

【0033】

後仕切りシートヒンジ部 2 3 は、上下方向に延び左右方向に略等間隔に設けられた中央の折り線 n 1、及び、左右の折り線 n 2 を備えている。

【0034】

後仕切りシート 2 を構成する後仕切りシート右片半部 2 2 及び後仕切りシートヒンジ部 2 3 は、他のシートに直接及び間接的に固定されていない態様をなしている。換言すれば、後仕切りシート右片半部 2 2 及び後仕切りシートヒンジ部 2 3 は、後仕切りシート左片半部 2 1 を介して表紙 1 に溶着により固定されたものとなっている。

【0035】

＜前仕切りシート 3（仕切り）＞

前仕切りシート 3 は、後仕切りシート 2 の前に配設されている。前仕切りシート 3 は、全体として横長矩形シート状をなしている。前仕切りシート 3 は、展開姿勢（T）において左側に位置した略縦長矩形状をなす前仕切りシート左片半部 3 1 と、展開姿勢（T）において右側に位置した略縦長矩形状をなす前仕切りシート右片半部 3 2 と、前仕切りシート左片半部 3 1 と前仕切りシート右片半部 3 2 との間に介設されたヒンジ部である前仕切りシートヒンジ部 3 3 とを備えたものである。

【0036】

前仕切りシート左片半部 3 1 には、上端部に使用者が手指で摘みやすい形状をなした前指掛け凸片 3 1 a が突設されている。なお、前指掛け凸片 3 1 a は、展開姿勢（T）における正面視において、後指掛け凸片 2 1 a に対して右側にずれた位置に設けられている。前仕切りシート左片半部 3 1 の下部には、固定片 C の形成に伴って打ち抜き孔 D が形成されている。

【0037】

前仕切りシート右片半部 3 2 には、右端縁の下半部を前仕切りシートヒンジ部 3 3 側に凹ませた前の端凹部 3 2 a を備えている。前の端凹部 3 2 a は、背表紙 1 3 の右側端縁の下半部に溶着される保持シート 6 の右の被溶着片 6 6 や当該右の被溶着片 6 6 に隣設された右のマチ 6 5 との干渉を避けるために設けられている。

【0038】

前仕切りシートヒンジ部 3 3 は、上下方向に延び左右方向に略等間隔に設けられた中央及び左右の折り線 r 1、r 2 を備えている。

【0039】

前仕切りシート 3 を構成する前仕切りシート右片半部 3 2 及び前仕切りシートヒンジ部 3 3 は、他のシートに直接及び間接的に固定されていない態様をなしている。換言すれば、前仕切りシート右片半部 3 2 及び前仕切りシートヒンジ部 3 3 は、前仕切りシート左片半部 3 1 に折曲部 a 1 を介して連設された後仕切りシート左片半部 2 1 を介して表紙 1 に固定されたものとなっている。

【0040】

＜前仕切りシート 3 及び後仕切りシート 2 を形成する一枚のシート A＞

この実施形態のファイルは、仕切りである前仕切りシート 3 及び後仕切りシート 2 により空間を仕切られた収納部 s p を備えたものとなっている。

【0041】

仕切りである前仕切りシート 3 及び後仕切りシート 2 は、図 10 に示される一枚のシート A を、連設境界部である折曲部 a 1 において折り曲げることにより前後に重なり合うように構成されている。そして、一枚のシート A における折曲部 a 1 の近傍から切り起こされた固定片 C が、他のシートである表表紙 1 1 の内面に対して溶着されている。

【0042】

10

20

30

40

50

換言すれば、二つの仕切りである前仕切りシート3及び後仕切りシート2は、一枚のシートAを折曲部a1において折り曲げることにより、収納部sp内に設けられている。そして、一枚のシートAにおける折曲部a1の近傍から切り起こされた固定片Cが、他のシートである表表紙11における下部の内面に対して溶着により固定されている。

【0043】

固定片Cは、一枚のシートAを構成する前仕切りシート左片半部31及び後仕切りシート左片半部21の下端部間の双方に亘るように略コ字状をなす固定片形成用のスリットa2を形成することにより、後仕切りシート左片半部21側から切り起こし可能に設けられたものである。

【0044】

スリットa2は左右方向に直線状に延びた横スリット部a21と、横スリット部a21の両端から当該横スリット部a21に対して略直交する方向（後仕切りシート2の方向）に延びた縦スリット部a22とを備えている。横スリット部a21は前仕切りシート左片半部31に設けられており、縦スリット部a22は、前仕切りシート左片半部31及び後仕切りシート左片半部21に亘って設けられている。

【0045】

固定片Cの基端は、後仕切りシート左片半部21に配設されている。固定片Cには、基端よりも先端側に折曲部a1と略合致する高さに位置する固定片折曲部c1が設けられている。固定片Cは、固定片折曲部c1により折り曲げられて、それよりも先端側に位置する先端部分c2が上方に向かって延びた姿勢をなしている。固定片Cの先端部分c2は、ポケットシート5における下の被溶着片53を介して表表紙1の内面側に溶着されるようになっている。

【0046】

複数の仕切りである前仕切りシート3及び後仕切りシート2は、二つ折りされた収納部spの一方側たる左側に位置する前仕切りシート左片半部31及び後仕切りシート左片半部21と、他方側たる右側に位置する前仕切りシート右片半部32及び後仕切りシート右片半部22とを備えている。

【0047】

そして、この実施形態では、前仕切りシート3及び後仕切りシート2における各一方側の片半部間にのみ、すなわち、前仕切りシート左片半部31と後仕切りシート左片半部21との間にのみ折曲部a1が設けられており、各他方側の片半部である前仕切りシート右片半部32及び後仕切りシート右片半部22は互いに相対移動可能に配設されている。

【0048】

換言すれば、一枚のシートAは、前仕切りシート左片半部31と後仕切りシート左片半部21との間のみが折曲部a1を介して繋がっており、前仕切りシート右片半部32と後仕切りシート右片半部22との間は離間したものとなっている。

【0049】

なお、相対移動は、展開姿勢（T）と閉じ姿勢（F）との間の姿勢変更に伴ってなされる左右方向の移動である。

【0050】

<ベースシート4>

ベースシート4は、表表紙11に固定されたポケットシート5に対して溶着により固定されている。つまり、ベースシート左片半部41は、ポケットシート5を介して表表紙11に対して間接的に固定されている。

【0051】

ベースシート4の高さ寸法は、その上端部が表紙1、後仕切りシート2、及び、前仕切りシート3における上下方向中間部に位置する値に設定されている。より具体的には、ベースシート4は、表紙1、後仕切りシート2、及び、前仕切りシート3の略半分の高さに設定されている。

【0052】

10

20

30

40

50

ファイルは、前側シートであるベースシート４の高さを、後側シートである表紙１、後仕切りシート２、及び、前仕切りシート３の高さよりも低く構成したものとなっている。そのため、図１４に一例を示すように、展開姿勢（Ｔ）において、ベースシート４の後に配された前仕切りシート３及び後仕切りシート２の各上半部を、収納部ｓｐに収納された収納物の確認等をするために、使用者の操作によって手前側に移動させることができるようになっている。

【００５３】

ベースシート４は、前仕切りシート３の前に配設されている。ベースシート４は、展開姿勢（Ｔ）において左側に位置した略横長矩形状をなすベースシート左片半部４１と、展開姿勢（Ｔ）において右側に位置した略横長矩形状をなすベースシート右片半部４２と、ベースシート左片半部４１とベースシート右片半部４２との間に介設されたヒンジ部であるベースシートヒンジ部４３と、ベースシート左片半部４１の上端縁から一体に延設されたポケット蓋形成片４４とを備えたものである。

【００５４】

ベースシート左片半部４１の左側端部には左の被溶着片４５が延設されている。そして、左の被溶着片４５は、表紙１１に溶着により固定されたポケットシート５の左側端部の内面（より具体的には、左のマチ５４の内面）に溶着されている。ベースシート左片半部４１の下端部は、表紙１１に溶着により固定されたポケットシート５の内面に添接又は近接するように配設されている。

【００５５】

ベースシート右片半部４２には、ベースシートヒンジ部４３に近接した位置に上下方向に延びてなるスリットＥが設けられている。スリットＥには、保持シート６に突設された舌片６７が挿入されるようになっている。スリットＥ及び舌片６７は、ガイド機構たる第一のガイド機構Ｇ１を構成している。なお、スリットＥ及び舌片６７は、保持シート６の前保持シート部６１に前側から覆われた位置に設けられている。

【００５６】

ベースシートヒンジ部４３は、上下方向に延び左右方向に略等間隔に設けられた中央の折り線ｓ１、及び、左右の折り線ｓ２を備えている。

【００５７】

ポケット蓋形成片４４には、先端部に折り返し突片４４ａが突設されている。折り返し突片４４ａは、ポケットシート５に形成されたスリット５１ｂに挿入されるようになっている。折り返し突片４４ａがスリット５１ｂに挿入されると、ポケット蓋形成片４４が、ポケットを閉じた姿勢に保持されるようになっている。折り返し突片４４ａは、ポケット蓋形成片４４の内面側に沿うように折り返された状態でその基端部近傍がポケット蓋形成片４４の内面に溶着されている。

【００５８】

ベースシート４を構成するベースシート右片半部４２及びベースシートヒンジ部４３は、他のシートに対して直接及び間接的に固定されていない態様をなしている。換言すれば、ベースシート右片半部４２及びベースシートヒンジ部４３は、ポケットシート５に溶着したベースシート左片半部４１を介して表紙１に固定されたものとなっている。

【００５９】

＜ポケットシート５＞

ポケットシート５は、ベースシート左片半部４１、及び、ベースシート左片半部４１の上に突設されたポケット蓋形成片４４と協働して、物品を収容し得るポケットを形成し得るものである。

【００６０】

ポケットシート５は、透明のフィルムシートｆｓが配設され内部を視認可能な窓部５１ａと当該窓部５１ａの上に左右方向に延びるように設けられポケット蓋形成片４４に設けられた折り返し突片４４ａが挿入し得るスリット５１ｂとを有するポケットシート本体５１と、ポケットシート本体５１の下端縁から連設された下のマチ５２と、下のマチ５２の

10

20

30

40

50

延出端から延設され表表紙 1 1 の下端部に溶着により固定される下の被溶着片 5 3 と、ポケットシート本体 5 1 の左側端縁から連設された左のマチ 5 4 と、左のマチ 5 4 の延出端から延設され表表紙 1 1 の左側端部に溶着により固定される左の被溶着片 5 5 と、ポケットシート本体 5 1 の右側端縁から連設された右のマチ 5 6 と、右のマチ 5 6 の延出端から延設されベースシート左片半部 4 1 の右側端部に溶着により固定される右の被溶着片 5 7 とを備えている。

【0061】

＜保持シート 6＞

第三のシートである保持シート 6 は、ベースシート右片半部 4 2 を左右方向に相対移動可能に保持し得るものである。

【0062】

保持シート 6 は、ベースシート右片半部 4 2 の前に配設される前保持シート部 6 1 と、前保持シート部 6 1 の上縁部に折り返し部たる折り曲げ部分 6 a を介して連設されベースシート右片半部 4 2 の後及び前仕切りシート右片半部 3 2 の前に配設される後保持シート部 6 2 と、前保持シート部 6 1 の下端縁から連設された下のマチ 6 3 と、下のマチ 6 3 の延出端から延設され裏表紙 1 2 の下端部に溶着により固定される下の被溶着片 6 4 と、前保持シート部 6 1 の右側端縁から連設された右のマチ 6 5 と、右のマチ 6 5 の延出端から延設され裏表紙 1 2 の右側端部に溶着により固定される右の被溶着片 6 6 と、前保持シート部 6 1 の左側端縁から折り返し部 6 7 b を介して連設され前保持シート部 6 1 の後側に配設された舌片 6 7 を備えている。

【0063】

前保持シート部 6 1 には、左右方向に傾斜して延びてなるカード保持用のスリット 6 1 a が設けられている。

【0064】

舌片 6 7 は、前保持シート部 6 1 の内面側に沿うように折り返された状態でその基端部近傍が前保持シート部 6 1 の内面すなわち裏面に溶着されている。舌片 6 7 は、ベースシート右片半部 4 2 に設けられたスリット E に挿入され、ベースシート右片半部 4 2 の保持シート 6 に対する左右方向の相対移動を許容しつつ上下方向の移動を規制してベースシート右片半部 4 2 の姿勢を保持し得るものとなっている。

【0065】

舌片 6 7 における突出端の上部にはスリット E の開口縁に係わり合うことによりスリット E からの舌片 6 7 の抜け出しを抑制する突起 6 7 a が設けられている。舌片 6 7 の突起 6 7 a は、ベースシート右片半部 4 2 が閉じ姿勢（F）を採る際における舌片 6 7 に対する右方向への相対移動の限界位置を規定し得るものとなっている。

【0066】

＜第一のガイド機構 G 1・第二のガイド機構 G 2（ガイド機構）＞

第一、第二のガイド機構 G 1、G 2 は、収納部 s p が二つ折りされない展開姿勢（T）と収納部 s p が二つ折りされた閉じ姿勢（F）との間の姿勢変更に伴ってなされる後側シートにおける第一の片半部である裏表紙 1 2 に対する前側シートにおける第一の片半部であるベースシート右片半部 4 2 の左右方向の相対移動を当該ベースシート右片半部 4 2 の上下方向のずれ動きを抑制しつつ案内し得るものである。

【0067】

なお、前側シート及び後側シートにおける第二の片半部同士、すなわち、表表紙 1 1 とベースシート左片半部 4 1 とはポケットシート 5 を介して相互に固定されている。換言すれば、表表紙 1 1 とベースシート左片半部 4 1 とは、左右方向に相対移動が殆どできない構成をなしている。

【0068】

第一のガイド機構 G 1 は、前側シートであるベースシート 4 におけるベースシート右片半部 4 2 に設けられたスリット E と、後側シートの右片半部である裏表紙 1 2 に保持シート 6 を介して間接的に設けられベースシート右片半部 4 2 に形成された上下方向に延びた

10

20

30

40

50

スリット E に挿入されて左右方向に進退動作可能な舌片 6 7 により構成されている。

【0069】

第二のガイド機構 G 2 は、後側シートである表紙 1 の右片半部である裏表紙 1 2 に溶着により固定された第三のシートである保持シート 6 を有し、当該保持シート 6 の前保持シート部 6 1 と後保持シート部 6 2 との間に形成された折り曲げ部分 6 a に対して前側シートの右片半部であるベースシート右片半部 4 2 の上縁部 j e が係合し得る構成をなしている。

【0070】

＜ヒンジ部の相対位置＞

表紙 1 には、二つ折りされた収納部 s p の一方側に位置する一方の片半部である表表紙 1 1 と他方側に位置する他方の片半部である裏表紙 1 2 との間に、複数の折曲線である内折り線 m 1 及び外折り線 m 2 を有したヒンジ部たる背表紙 1 3 が設けられている。

【0071】

後仕切りシート 2 には、二つ折りされた収納部 s p の一方側に位置する一方の片半部である後仕切りシート左片半部 2 1 と他方側に位置する他方の片半部である後仕切りシート右片半部 2 2 との間に複数の折曲線である中央の折り線 n 1 及び左右の折り線 n 2 を有したヒンジ部たる後仕切りシートヒンジ部 2 3 が設けられている。

【0072】

前仕切りシート 3 には、二つ折りされた収納部 s p の一方側に位置する一方の片半部である前仕切りシート左片半部 3 1 と他方側に位置する他方の片半部である前仕切りシート右片半部 3 2 との間に複数の折曲線である中央の折り線 r 1 及び左右の折り線 r 2 を有したヒンジ部たる前仕切りシートヒンジ部 3 3 が設けられている。

【0073】

ベースシート 4 には、二つ折りされた収納部 s p の一方側に位置する一方の片半部であるベースシート左片半部 4 1 と他方側に位置する他方の片半部であるベースシート右片半部 4 2 との間に複数の折曲線である中央の折り線 s 1 及び左右の折り線 s 2 を有したヒンジ部たるベースシートヒンジ部 4 3 が設けられている。

【0074】

本実施形態のファイルは、展開姿勢（T）において、背表紙 1 3、後仕切りシートヒンジ部 2 3、前仕切りシートヒンジ部 3 3、及び、ベースシートヒンジ部 4 3 が、後から前にこの順序で配されている。そして、背表紙 1 3、後仕切りシートヒンジ部 2 3、前仕切りシートヒンジ部 3 3、及び、ベースシートヒンジ部 4 3 が、展開姿勢（T）において相対的に偏移した位置に配設されている。

【0075】

より具体的に言えば、展開姿勢（T）の正面視において、ヒンジ部たる背表紙 1 3 よりも左側に偏移した位置にヒンジ部たる後仕切りシートヒンジ部 2 3 が配設されており、後仕切りシートヒンジ部 2 3 よりも左側に偏移した位置にヒンジ部たる前仕切りシートヒンジ部 3 3 が配設されており、前仕切りシートヒンジ部 3 3 よりも左側に偏移した位置にヒンジ部たるベースシートヒンジ部 4 3 が配設されている。

【0076】

換言すれば、ファイルは、前側シートにおける一方の片半部と他方の片半部との間に、複数の折曲線たる折り線を有した第一ヒンジ部（後仕切りシートヒンジ部 2 3、前仕切りシートヒンジ部 3 3、又は、ベースシートヒンジ部 4 3）が設けられたものであり、後側シートにおける一方の片半部と他方の片半部との間に、複数の折曲線たる折り線を有した第二ヒンジ部（背表紙 1 3、後仕切りシートヒンジ部 2 3、又は、前仕切りシートヒンジ部 3 3）が設けられたものである。そして、展開姿勢（T）の正面視において第二ヒンジ部よりも前に位置する第一ヒンジ部は、展開姿勢（T）の正面視において第一ヒンジ部よりも後に位置する第二ヒンジ部に対して左に偏移した位置に配設されている。

【0077】

また、背表紙 1 3 における左右の内折り線 m 1 間の離間寸法、内折り線 m 1 と外折り線

10

20

30

40

50

m 2 との間の離間寸法、後仕切りシートヒンジ部 2 3 における中央の折り線 n 1 と左右の折り線 n 2 との離間寸法、前仕切りシートヒンジ部 3 3 における中央の折り線 r 1 と左右の折り線 r 2 との離間寸法、及び、ベースシートヒンジ部 4 3 における中央の折り線 s 1 と及び左右の折り線 s 2 との離間寸法は、互いに異なるように設定されている。

【0078】

[請求項の記載との対応関係]

前仕切りシート 3 は、請求項 5 に示された「前側シート」に対応するものであり、後仕切りシート 2 は、請求項 5 に示された「後側シート」に対応するものである。ベースシート 4 は、請求項 8 に示された「前側シート」に対応するものであり、表紙 1、後仕切りシート 2、及び、前仕切りシート 3 は、請求項 8 に示された「後側シート」に対応するものである。

10

【0079】

以上説明したように、本実施形態に係るファイルは、前側シートであるベースシート 4 及び後側シートである表紙 1 を含んで構成された二つ折り可能な収納部 s p を有したものである。そして、ベースシート 4 が、二つ折りされた収納部 s p の一方側たる左側に位置する一方の片半部たるベースシート左片半部 4 1 と他方側たる右側に位置する他方の片半部たるベースシート右片半部 4 2 とを備えたものである。また、後側シートたる表紙 1 が、二つ折りされた収納部 s p の一方側たる左側に位置する一方の片半部たる表紙 1 1 と他方側たる右側に位置する他方の片半部たる裏表紙 1 2 とを備えたものである。しかして、ベースシート左片半部 4 1 と表紙 1 とが相互に固定されており、ベースシート右片半部 4 2 と裏表紙 1 2 とが相対移動可能に配設されているものである。

20

【0080】

このため、収納部 s p を構成するベースシート 4 及び表紙 1 の双方が片半部同士を相対移動可能にしているため、好適な二つ折り姿勢を採り得るように構成されたファイルを提供することができるものとなる。

【0081】

また、本実施形態に係るファイルは、前側シートである前仕切りシート 3 及び後側シートである後仕切りシート 2 を含んで構成された二つ折り可能な収納部 s p を有したものである。そして、前仕切りシート 3 が、二つ折りされた収納部 s p の一方側たる左側に位置する一方の片半部たる前仕切りシート左片半部 3 1 と他方側たる右側に位置する他方の片半部たる前仕切りシート右片半部 3 2 とを備えたものである。また、後側シートたる後仕切りシート 2 が、二つ折りされた収納部 s p の一方側たる左側に位置する一方の片半部たる後仕切りシート左片半部 2 1 と他方側たる右側に位置する他方の片半部たる後仕切りシート右片半部 2 2 とを備えたものである。しかして、前仕切りシート左片半部 3 1 と後仕切りシート左片半部 2 1 とが相互に固定されており、前仕切りシート右片半部 3 2 と後仕切りシート右片半部 2 2 とが相対移動可能に配設されているものである。

30

【0082】

このため、収納部 s p を構成する前仕切りシート 3 及び後仕切りシート 2 の双方が片半部同士を相対移動可能にしているため、好適な二つ折り姿勢を採り得るように構成されたファイルを提供することができるものとなる。

40

【0083】

ベースシート右片半部 4 2 と裏表紙 1 2 とを相対移動可能にガイドするガイド機構たる第一、第二のガイド機構 G 1、G 2 が設けられている。

【0084】

このため、ベースシート右片半部 4 2 と裏表紙 1 2 との相対移動に伴って、双方の姿勢が乱れ難く適切な姿勢が保持されるものとなっている。

【0085】

第一のガイド機構 G 1 が、ベースシート右片半部 4 2 に設けられたスリット E と、裏表紙 1 2 に固定された保持シート 6 を介して間接的に設けられスリット E に挿入される舌片 6 7 である。

50

【0086】

このため、第一のガイド機構G1が、ベースシート右片半部42と裏表紙12とをスリットEと舌片67とを係わり合わせる構成を利用して好適に姿勢保持しつつ相対移動を案内し得るものとなっている。

【0087】

第二のガイド機構G2が、裏表紙12に設けられた他のシートたる保持シート6を有し、当該保持シート6に形成された折り曲げ部分6aに対してベースシート右片半部42の上縁部jeが係合し得る構成をなしている。

【0088】

このため、第二のガイド機構G2は、保持シート6に案内されてベースシート右片半部42における前後方向の移動及び上方へのずれ動きが適切に抑制されるものとなっている。

【0089】

前仕切りシート3及び後仕切りシート2は、一枚のシートAを折曲部a1において折り曲げることにより構成されている。

【0090】

このため、ファイルを形成するための部品点数が好適に抑制されたものとなっている。

【0091】

一枚のシートAにおける折曲部a1の近傍から切り起こされた固定片Cが、他のシートである表紙1に対して溶着されている。

【0092】

このため、前仕切りシート3及び後仕切りシート2を有する一枚のシートAが、表紙1に対して好適に取り付けられたものとなっている。

【0093】

収納部spが二つ折りされない展開姿勢(T)と、収納部spが二つ折りされた閉じ姿勢(F)との間で開閉動作可能に構成されたファイルであって、ベースシート左片半部41とベースシート右片半部42との間に複数の折曲線である中央及び左右の折り線s1、s2を有した第一ヒンジ部たるベースシートヒンジ部43が設けられたものであり、表表紙11と裏表紙12との間に複数の折曲線である内折り線m1及び外折り線m2を有した第二ヒンジ部たる背表紙13が設けられたものであり、ベースシートヒンジ部43及び背表紙13は、展開姿勢(T)において相対的に偏移した位置に配設されている。

【0094】

このため、閉じ姿勢(F)において、ベースシートヒンジ部43と背表紙13との相対位置が好適なものとなる設計の自由度に優れたものとなっている。

【0095】

収納部spが二つ折りされない展開姿勢(T)と、収納部spが二つ折りされた閉じ姿勢(F)との間で開閉動作可能に構成されたファイルであって、前仕切りシート左片半部31と前仕切りシート右片半部32との間に複数の折曲線である中央及び左右の折り線r1、r2を有した第一ヒンジ部たる前仕切りシートヒンジ部33が設けられたものであり、後仕切りシート左片半部21と後仕切りシート右片半部22との間に複数の折曲線である中央及び左右の折り線n1、n2を有した第二ヒンジ部たる後仕切りシートヒンジ部23が設けられたものであり、前仕切りシートヒンジ部33及び後仕切りシートヒンジ部23は、展開姿勢(T)において相対的に偏移した位置に配設されている。

【0096】

このため、閉じ姿勢(F)において、ベースシートヒンジ部43と背表紙13との相対位置が好適なものとなる設計の自由度に優れたものとなっている。

【0097】

ベースシート4の高さ寸法は、その上端部が表紙1における上下方向中間部に位置する値に設定されている。

【0098】

このため、収納部spに収納される書類Pの閲覧性に優れたものとなっている。なお、

10

20

30

40

50

この実施形態では、表紙 1 の前に当該表紙 1 と近似した高さ寸法をなしている後仕切りシート 2 及び前仕切りシート 3 が配設されている。そのため、収納部 s p 内を見るために展開姿勢（T）において後仕切りシート 2 及び前仕切りシート 3 の上下方向中間部を折り曲げて各仕切りシート 2、3 の上半部をベースシートの前側に位置させるような変形を柔軟に行うことができるものとなっている。

【0099】

収納部 s p が二つ折りされない展開姿勢（T）と、収納部 s p が二つ折りされた閉じ姿勢（F）との間で開閉可能に構成されたものであって、相対移動が、展開姿勢（T）と閉じ姿勢（F）との間の姿勢変更に伴ってなされる左右方向の移動である。そのため、使用者の自然な左右方向の開閉操作の方向に沿って、後側シートの片半部を構成する裏表紙 1 2、表側シートの片半部を構成するベースシート右片半部 4 2、及び、後側シート及び前側シートの何れかを構成するものとなる後仕切りシート右片半部 2 2 及び前仕切りシート右片半部 3 2 が左右方向に相対移動し得るものとなっている。

【0100】

なお、本発明は、以上に詳述した実施形態に限られるものではない。

【0101】

二つ折り可能な収納部を構成する前側シート及び後側シートは、上述した実施形態に示されたものに限られるものではない。前側シート及び後側シートが対面するものであり、これら前側シート及び後側シートの間を二つ折り可能な収納部（収納空間）としているものであれば、どのようなものであってもよい。

【0102】

前側シート及び後側シートは、収納部を形成し得るものであって前後に配設された関係のものであればよい。上述した実施形態では、前側シートが表紙である場合は、後側シートは、後仕切りシート、前仕切りシート、及び、ベースシートの何れもが相当し得るものとなる。前側シートが後仕切りシートである場合は、後側シートは、前仕切りシート、及び、ベースシートの何れもが相当し得るものとなる。前側シートが前仕切りシートである場合は、後側シートは、ベースシートが相当し得るものとなる。

【0103】

前側シート及び後側シートは、収納部を形成し得るものであって、直接対面する前後関係を構成するものであってもよい。例えば、ファイルは、後側シートである表紙と前側シートであるベースシートが、その間に仕切りが介在することなく直接的に対面した構成のものであってもよい。

【0104】

例えば、図 16 に示すような構成のものであってもよい。

【0105】

図 16 に示すものは、ファイルに綴じられるホルダーである。ホルダーは収納部 s p に書類 P を挟んで保持し得るものである。ホルダーは、前側シートである前ホルダーシート 7 及び後側シートである後ホルダーシート 8 を含んで構成された上下方向中央部において二つ折り可能な収納部 s p を備えている。ホルダーは後ホルダーシート 8 の側端部に綴じ足挿通孔 8 a を有しており、図示しない綴じ足を配したファイル本体に支持されるものとなっている。

【0106】

前ホルダーシート 7 は、二つ折りされた収納部の一方側である下に位置する前ホルダーシート下片半部 7 1 と他方側である上に位置する前ホルダーシート上片半部 7 2 とを備えたものである。後ホルダーシート 8 が、二つ折りされた収納部 s p の一方側である下に位置する後ホルダーシート下片半部 8 1 と他方側である上に位置する後ホルダーシート上片半部 8 2 とを備えたものである。

【0107】

前ホルダーシート下片半部 7 1 と後ホルダーシート下片半部 8 1 とが右側部に配設された溶着部 y 1 において相互に固定されており、前ホルダーシート上片半部 7 2 と後ホルダ

10

20

30

40

50

ーシート上片半部 8 2 とが相対移動可能に配設されている。

【0108】

前ホルダーシート上片半部 7 2 と後ホルダーシート上片半部 8 2 との間には、前ホルダーシート上片半部 7 2 及び後ホルダーシート上片半部 8 2 を相対移動可能にガイドするガイド機構 G 3 が設けられている。ガイド機構 G 3 は、前ホルダーシート上片半部 7 2 の側部に設けられた上下方向に延びたレール部 7 2 a と、後ホルダーシート上片半部 8 2 に設けられレール部 7 2 a を上下方向に相対移動可能に包持するレール包持部 8 2 a とを備えたものである。かかる構成のものであっても、所期の目的を達成することができるものとなる。

【0109】

前側シートと後側シートとの固定は、溶着に限られるものではなく、種々の固定手段によって固定することを含むものである。例えば、前側シートと後側シートとを、接着剤や固定具を介して固定するものであってもよい。

【0110】

前側シートと後側シートとの固定は、前側シート及び後側シートの何れか一方に固定された別のシート材に対して、他方を固定することを含むものである。

【0111】

ガイド機構は、前側シートにおける他方の片半部と後側シートにおける他方の片半部とを相対移動可能にガイドすることができればよく、上述した実施形態に示されたものに限られるものではない。

【0112】

ガイド機構が、ベースシート側に舌片を設け、表紙に固定された保持シート側に舌片が挿入されるスリットを設けた構成のものであってもよい。

【0113】

その他、各部の具体的構成についても上記実施形態に限られるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々変形が可能である。

【符号の説明】

【0114】

- 1 … 表紙（後側シート）
- 2 … 後仕切りシート（後側シート・前側シート）
- 3 … 前仕切りシート（後側シート・前側シート）
- 4 … ベースシート（前側シート）
- 5 … ポケットシート
- 6 … 保持シート
- G 1 … 第一のガイド機構（ガイド機構）
- G 2 … 第二のガイド機構（ガイド機構）

10

20

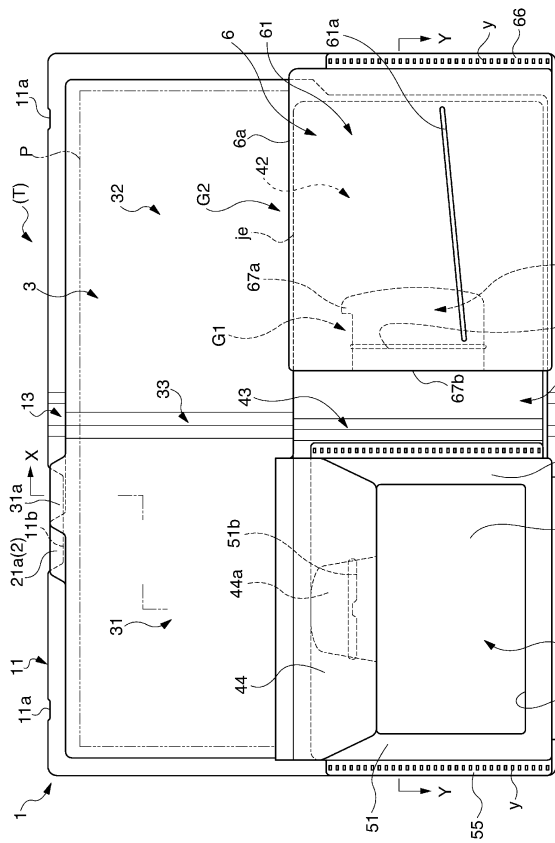
30

40

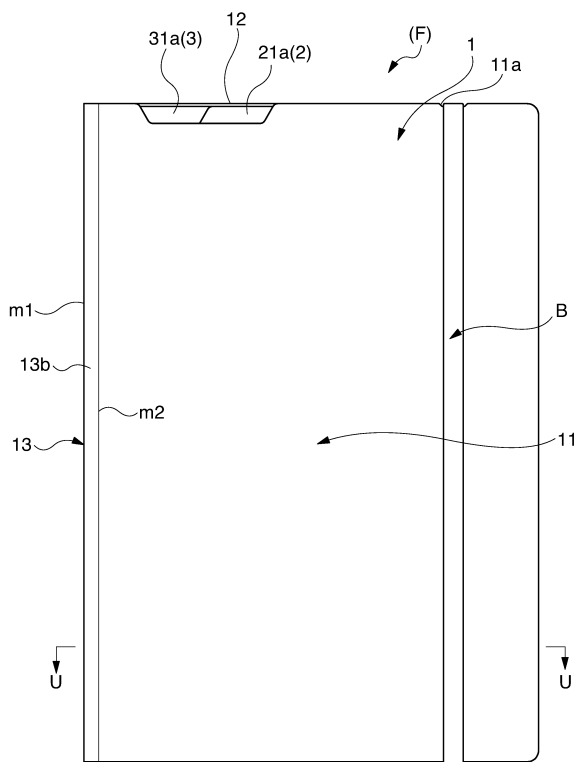
50

【図面】

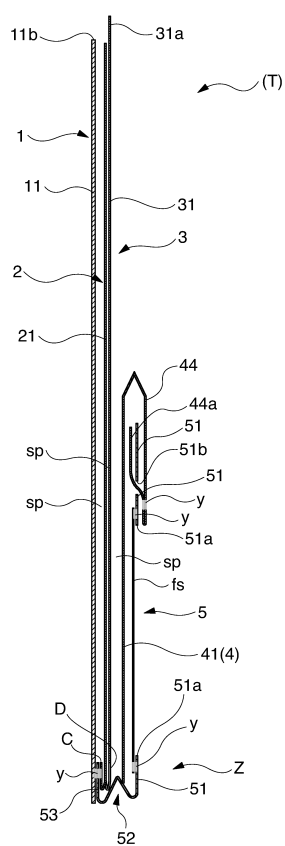
【図 1】



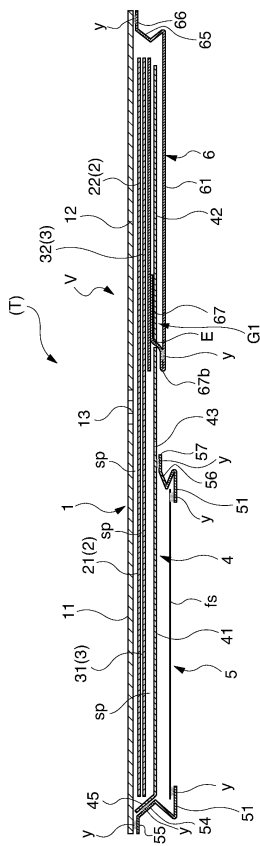
【図 2】



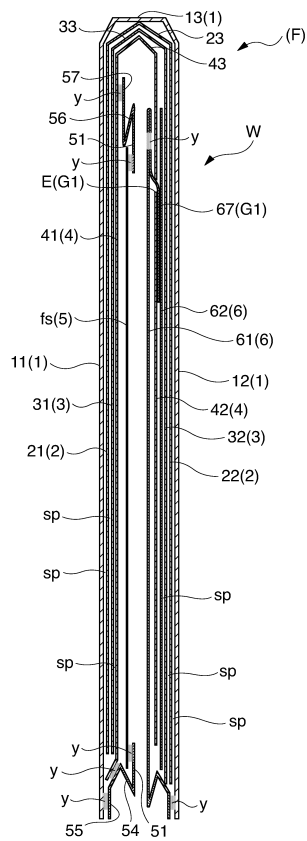
【圖 3】



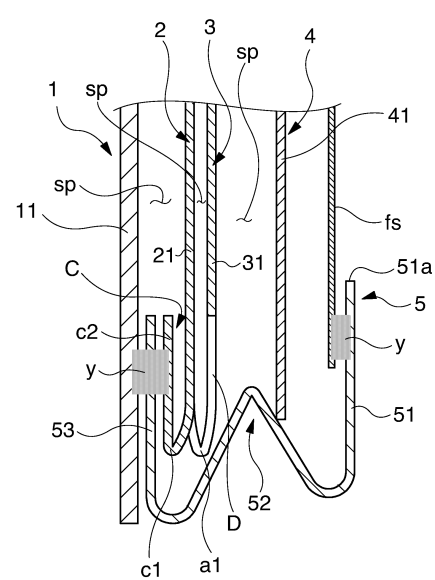
【図 4】



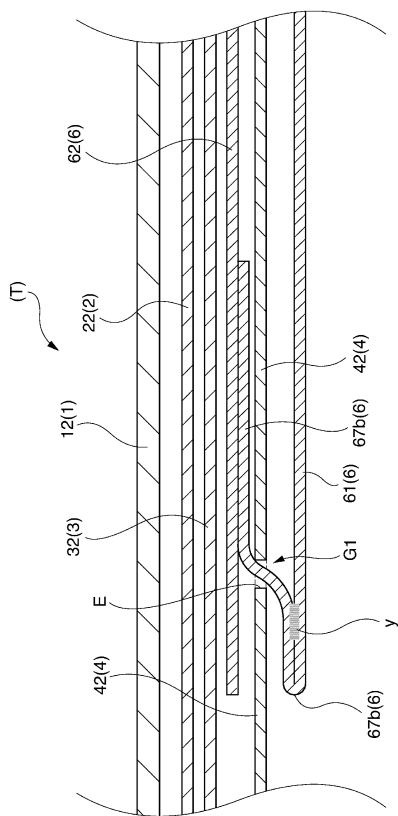
【図 5】



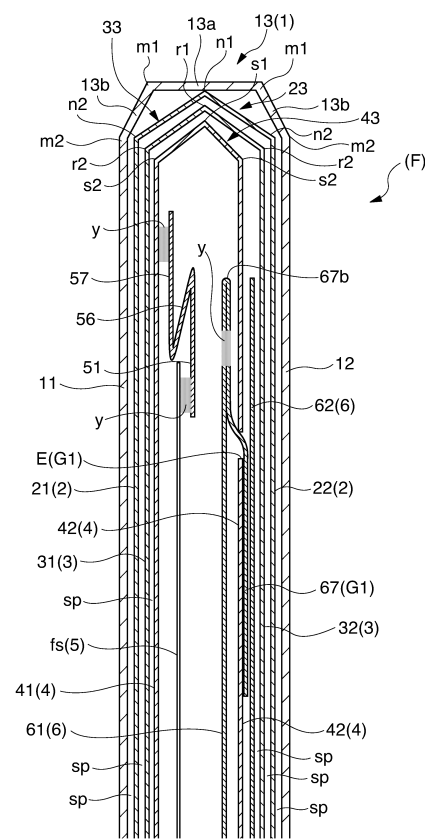
【図 6】



【図 7】



【図 8】



10

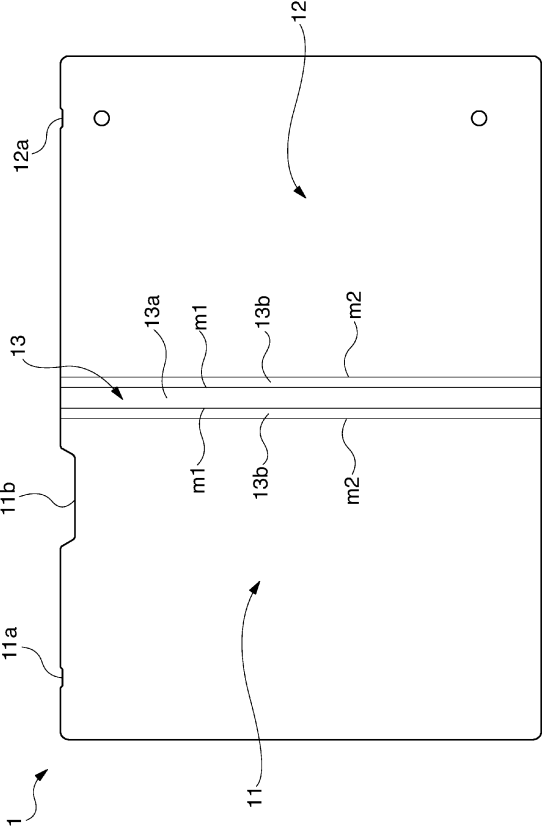
20

30

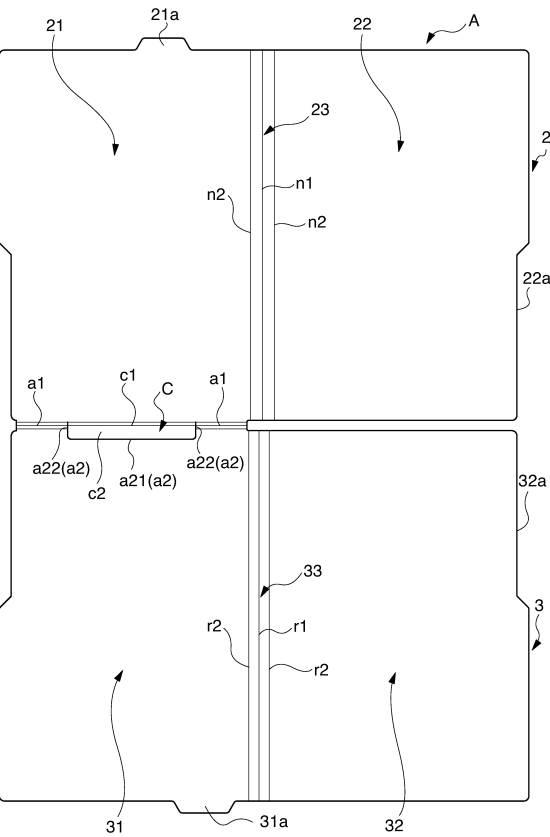
40

50

【図 9】



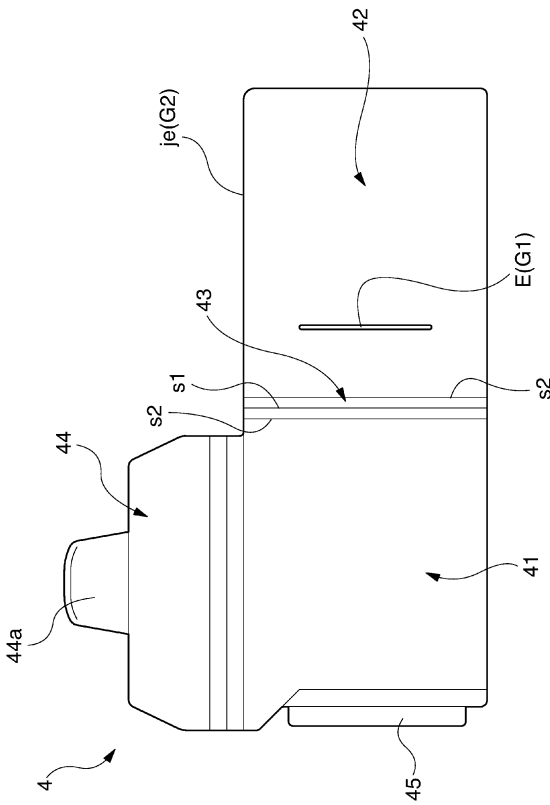
【図 10】



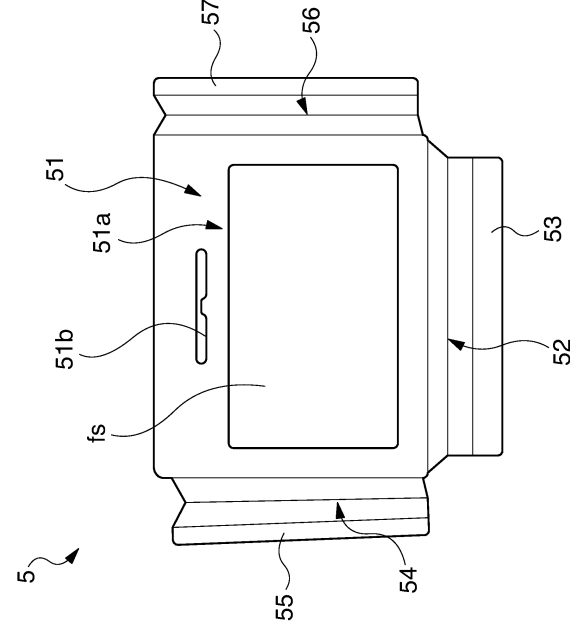
10

20

【図 11】



【図 12】

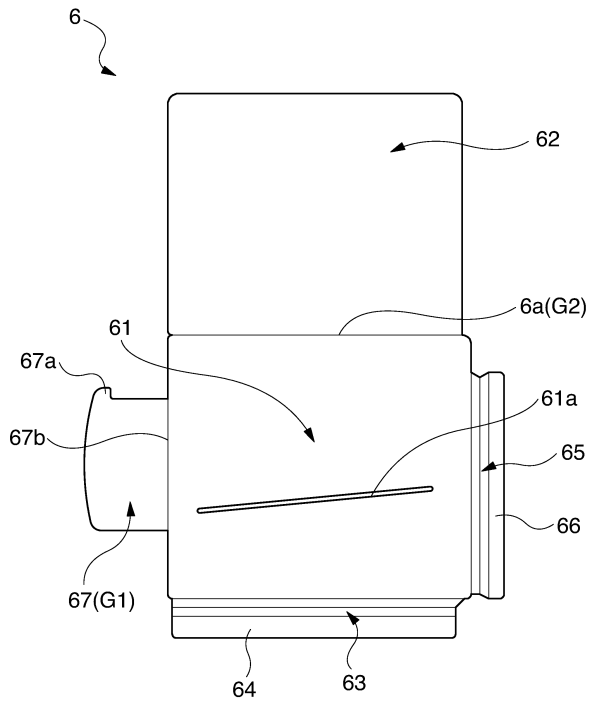


30

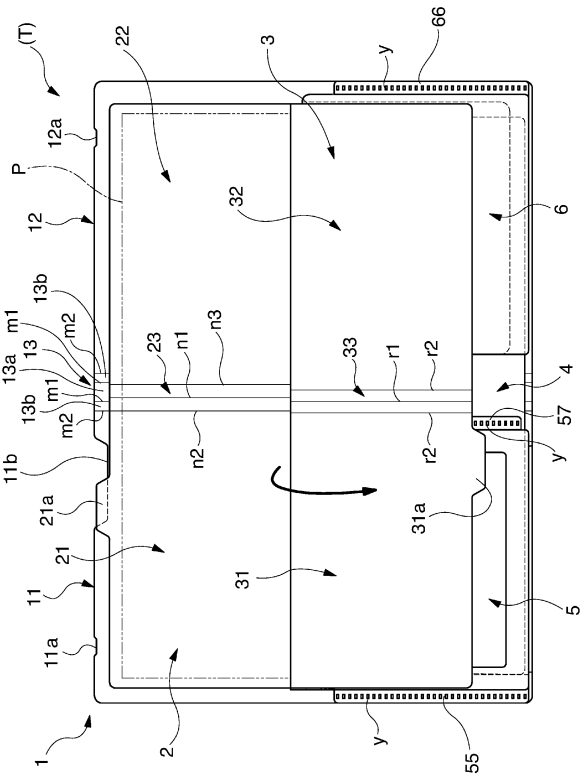
40

50

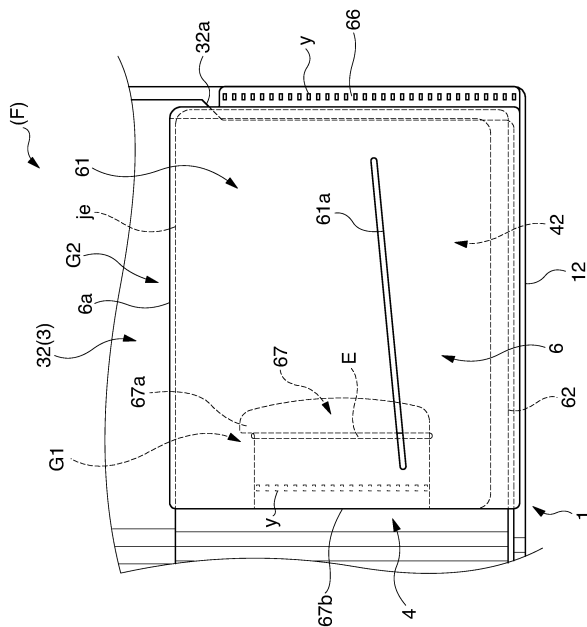
【図 13】



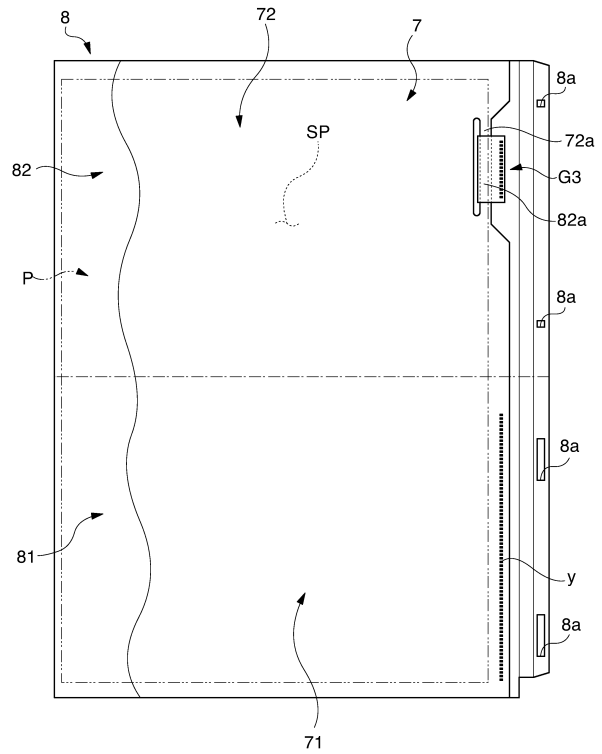
【図 14】



【図 15】



【図 16】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2013-146955 (JP, A)
特開2021-035762 (JP, A)
特開2000-190674 (JP, A)
特開2000-335156 (JP, A)
特開2018-161794 (JP, A)
実開昭59-032471 (JP, U)
特開2021-037670 (JP, A)
特開2021-024198 (JP, A)
特開2004-066694 (JP, A)
特開2002-225477 (JP, A)
登録実用新案第3153734 (JP, U)
実開平03-031982 (JP, U)
特開2009-269284 (JP, A)
特開2018-176607 (JP, A)
特開2021-054036 (JP, A)
特開2019-188620 (JP, A)
中国特許出願公開第104943441 (CN, A)
韓国公開特許第10-2017-0056184 (KR, A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
B42F 1/00-23/00